

為替市場

	Open	High	Low	Close	Change	
USD/TWD	31.790	31.835	31.740	31.748	-0.037 (-0.1%)	
USD/JPY	158.60	159.30	158.53	159.01	+0.420 (+0.3%)	
JPY/TWD	0.2000	0.2005	0.1992	0.1995	-0.0005 (-0.3%)	
EUR/USD	1.1661	1.1723	1.1651	1.1699	+0.0037 (+0.3%)	
USD/CNH	6.8341	6.8418	6.8247	6.8290	-0.0048 (-0.1%)	

株式/商品市場

	Close	Change		Close	Change
台湾加権指数	34,861.16	+99.78 (+0.3%)	ダウ平均	48,185.80	+275.88 (+0.6%)
日経平均	55,895.32	-413.10 (-0.7%)	S&P 500	6,824.66	+41.85 (+0.6%)
TOPIX	3,741.47	-33.83 (-0.9%)	WTI	97.87	+3.46 (+3.7%)
上海総合	3,966.17	-28.83 (-0.7%)	Brent	95.92	+1.17 (+1.2%)
DAX	23,806.99	-273.64 (-1.1%)	金	4,792.20	+42.70 (+0.9%)

債券市場

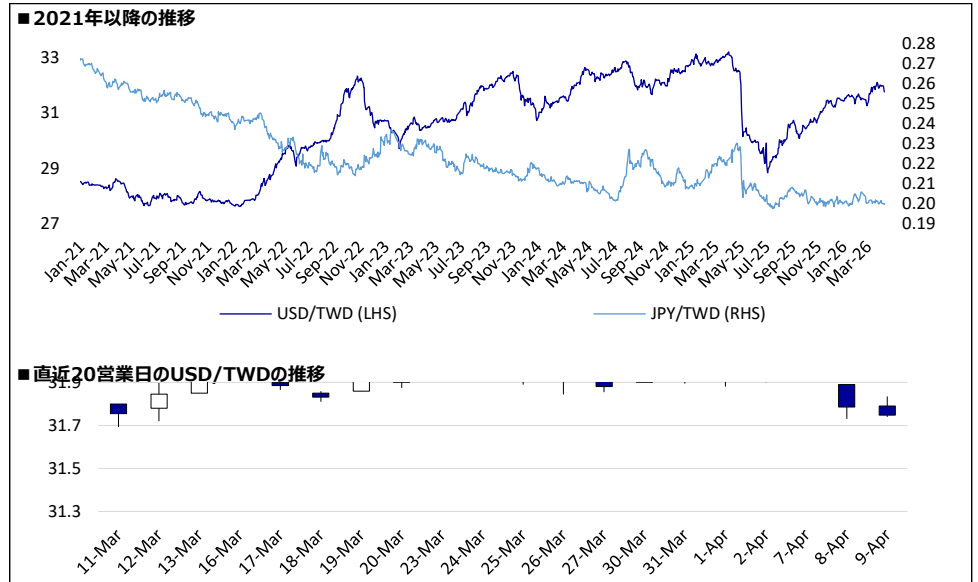
	2年債		5年債		10年債	
台湾国債利回り	1.33%	(+0.0bp)	1.41%	(-1.0bp)	1.49%	(-1.0bp)
日本国債利回り	1.39%	(+1.1bp)	1.81%	(+2.0bp)	2.40%	(+2.5bp)
ドイツ国債利回り	2.55%	(+5.3bp)	2.70%	(+5.9bp)	3.01%	(+6.8bp)
米国債利回り	3.78%	(-1.1bp)	3.92%	(-0.3bp)	4.29%	(+0.2bp)

前日の市場動向

■ USD/TWD
昨日のUSD/TWDは下落。31.790でオープン後、中東情勢を見極める慎重ムードの中、31.8ちようどを挟んで方向感がない推移が続き。午後にはTSMCが1,500億台湾ドルの配当金を支払ったことを背景に、海外投資家による資金流入が加速したことで、ドル売りが優勢となり、31.740まで値を下げる。最終的に31.748、前日比0.12%安でクローズ。株式市場における海外投資家の買い越し額は317.8億台湾ドル。

■ USD/JPY
昨日のUSD/JPYは上昇。158.60でオープン後、未明のイランによるバク空襲やロシア海峽の再封鎖などを嫌気して上昇する原油価格を横目に、一時159円台を伺う展開。ドル買い一服後は若干売り戻されつつも、158円台後半では底堅く推移。海外時間には159.30まで上昇する場面もあったが、その後は米国とイランの和平交渉が予定通り今週土曜に開催される見通しとの報道が好感され、リスクオフムードが後退し、158.64まで値を下げる。午後は低下している米金利が再上昇する展開を背景に159円台まで戻し、最終的に159.01、前日比0.3%高でクローズ。

台湾ドルの推移



本日の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：31.650 – 31.850
本日のUSD/TWDはレンジ内でもみ合う展開を予想。週末には米とイランによるパキスタンでの和平協議を控えており、本日は積極的にポジションを傾ける動きも限定的か。一方、海外投資家による株式の買い越しが継続すれば、台湾ドルの支え要因となるだろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：158.50 – 160.00
本日のUSD/JPYはレンジ内でもみ合う展開を予想。米・イランの停戦合意の実効性にはなお不透明感が残る中、有事のドル買い圧力は引き続き根強いとみられる。もともと、週末には米とイランによるパキスタンでの和平協議や米3月CPIの発表を控え、様子見姿勢が広がりやすいことから160円を明確に上抜けるような展開は見込みにくい。

今週の予定

4/6 (MON)	米3月ISM非製造業景気指数
4/7 (TUE)	米2月耐久財受注(速報)・第1四半期アトランタ連銀GDPNow、日本2月家計支出
4/8 (WED)	台湾3月消費者物価指数
4/9 (THU)	米FOMC議事要旨(3月会合分)・2月個人消費支出デフレーター・10~12月期GDP(確報)
4/10 (FRI)	米3月消費者物価指数・4月ミシガン大学消費者マインド(速報)

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。